



電設部所属 入社3年目
みうら こうた
三浦 康太さん（黒川高等学校出身）

私は、公共施設などの電気工事を担当しています。電柱にある電線から屋内に電気を引き込んだり、施設内に配線や照明などを取り付けたり。高所作業や力仕事もありますが、無事に工事が終わったときは達成感があります。

プライベートでバスケットをするときに利用する体育館の工事を担当したことも。友達がプレーを楽しむ姿を見て、「この照明は、自分が工事したんだぞ」と優越感に浸れるところがいいですね。



制御システム部所属 入社4年目
すずき まこと
鈴木 諒さん（利府高等学校出身）

私は、分配電盤や制御盤など、プラント設備に電気を供給する装置の製造・試運転・メンテナンスを担当しています。社内で配電盤製作に没頭することもあれば、設備がある現場にメンテナンスに出かけることもある。そんなメリハリが魅力です。

冬に鳥海山の麓にある現場まで、「かんじき」を履きながら移動したことも。体を動かすことが好きで、利府高校のスポーツ科学科で学び、陸上自衛隊、土木関係の仕事を経験してきた私にうってつけの仕事だと感じています。

産電工業株式会社の

ACEを直撃!

各分野の最前線で活躍する4人の若手社員が、自分の仕事の魅力について語ってくれました。



プラント建設部所属 入社2年目
はやさか ゆうと
早坂 優人さん（仙台市工業高等学校出身）

私は、「施工管理者」として、設備工事の現場を監督する仕事をしています。田んぼに水を供給するポンプ場など、水関係の現場が中心です。工事のスケジュールに関する書類の作成や、工事をお願いする協力会社との調整など、様々な仕事があります。

現場で働くみなさんとは、コミュニケーションを通じて、信頼関係を築くことを心掛けています。工事を期日までに完了させ、全員で喜びを共有できる瞬間がたまりません!



情報電子部所属 入社5年目
さとう ゆうや
佐藤 雄哉さん（宮城県工業高等学校出身）

私は、プラント設備で使用する、監視・制御装置システムの企画・設計・構築・メンテナンスなどを担当しています。システムを活用するお客様の要望を聞きながら使いやすいシステムを考えます。

最新の技術を取り入れ、利便性が高いシステムの構築を心掛けていますが、ときにはそれがお客様にとって難しいものになってしまうことも。常にお客様の立場に立ってベストな方法を試行錯誤するのは大変ですが、とてもやりがいのある仕事です。



産電工業株式会社

仙台市泉区八乙女中央 1-6-7
TEL 022-371-1701
http://www.sandenkogyo.co.jp/



産電工業 TOPICS 株式会社がグランプリに輝く

宮城県の産業の発展や地域経済の活性化に貢献した企業などを称える「富県宮城グランプリ」。グランプリに輝いた産電工業株式会社（仙台市）を訪れ、4人の若手社員に話を聞きました。



豊かで快適な暮らしを支える 総合エンジニアリング企業

私たちが働く産電工業株式会社は、1952年の創業から成長を続ける、電気工事や機械工事、制御システムの設計・施工などを担う、東北エリアでは数少ない総合エンジニアリングカンパニーです。

上下水道施設やごみ焼却施設、揚排水施設といった、公共性の高い設備事業で培った技術力とノウハウを生かし、オフィスビルや集合住宅、工場など様々な場所で事業を展開。水力・太陽光・風力発電設備事業などの再生可能エネルギー分野への進出や、設備の省エネルギー設計にも力を入れ、環境に優しい施設・設備の施工を目指してチャレンジを続けています。

当社では、設備の企画から開発、設計、施工、その後のメンテナンスまで、幅広い業務を自社内で完結することができる総合力を武器に、時代や地域のニーズに柔軟に対応しています。

また、様々な自社製品の開発も行っており、その一つに「ソーラーLED街路灯」があります。この製品は電気が通っていない場所でも短時間で設置することができるため、災害時の照明や電源としても活躍しています。2016年には、県内の企業で製造された優れた工業製品であるとの評価を受け、「みやぎ優れMONO」に認定されました。

街路灯は現在、ベトナムにも設置されており、電気が通っていない地域では、これまでの技術を応用し、水をくみ上げるポンプや信号機の電源として人々の安心安全な暮らしを支えています。このように当社の事業領域は、防災や医療、介護福祉など新たな分野や海外にも広がりをみせ、地域が抱える様々な課題の解決に貢献しています。

私たちは、それぞれ所属する部署が違いますが、連携プレーとチームワークを大切に、同じ目標に向かって仕事を進めています。今回、富県宮城グランプリをいただいたことを誇りに、地元である宮城県で暮らすみなさんのために、これからも精一杯頑張ります。



自社開発製品の「ソーラーLED街路灯」は、東日本大震災を機に開発が始まり、仮設住宅の街路灯などに活用されています

県内の6企業が受賞 第8回「富県宮城グランプリ」

2月10日、県庁で「富県宮城グランプリ」の授賞式が行われました。8回目となる今回は、グランプリの産電工業株式会社をはじめ、各賞を受賞した河北ライティングソリューションズ株式会社（石巻市）、株式会社岩沼精工（岩沼市）、理研食品株式会社（多賀城市）、株式会社二印大島水産（気仙沼市）、ヤグチ電子工業株式会社（石巻市）の代表に、村井嘉浩知事から表彰状が贈られました。



高橋社長（左から2人目）が持つ表彰状は柳生和紙で作られており、額縁には宮城の伝統工芸品である「玉虫塗」が施されています